

2025年度 公立大学法人北九州市立大学特別研究推進費 実績報告書

2026年 4月 30日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 文学部・教授

(氏名) 竹川大介

公立大学法人北九州市立大学特別研究推進費に係る研究実績について、次の通り報告します。

研究課題名	門司港の洋館を活用した地域再生と生涯学習の拠点づくりのための実践研究		
交付額	570,000		
共同研究者	所属・職名	氏名	役割分担等

1. 研究の目的

本研究の目的は、2024年に門司港に誕生した MoGA（門司画廊）という美術館の運営を通じて、フィールドとアートをつなぐ人類学を実践し、地域コミュニティの拠点作りと活性化を促すものである。

往年の門司港の保養地に立地している MoGA を拠点に、門司や北九州関門地域の歴史やコミュニティの成り立ちに関する社会調査をすすめ、以下の3つのテーマをもとにこの地域の特性を明らかにする。

- 1) MoGA の建物と門司港の歴史に関する社会調査と文献研究
- 2) 洋館や古民家の再生と運営に関する他地域での取り組みのフィールドワーク
- 3) アートを中心とした拠点の活用と地域コミュニティの再生の実践

2. 研究の方法

北九州市公文書館などに足を運び関連資料の収集をおこない、学生たちとともに門司港周辺での映像記録の作成のためのフィールドワークを集中的に実施する。

北九州地域に限らず、全国を視野に古民家の活用の実態と運営者との研究会を開催し取り組みについて調査をおこなう。

調査に参加する学生たちと共に MoGA を拠点とした社会実験をおこない、収集されたデータを今後の同様の取り組みにも活用できるようにまとめ、講義や学会など通じて社会に公開する。

特に3つめの実践は本研究における重要な要素と位置づけており、学生たちによる企画の立案から依頼や開催と来館者の学びのフィードバックを、研究の対象とする。

3. 研究成果

1) MoGA の建物と門司港の歴史に関する社会調査と文献研究

門司新報のアーカイブを調査し大正末期から昭和にかけての門司港の文献を調査した。月に二回ほどの頻度で門司港を訪ね、古い写真と比較しながら地域の現在の様子の映像記録をとった。

2) 洋館や古民家の再生と運営に関する他地域での取り組みのフィールドワーク

2026 年 8 月震災の被害が大きい奥能登での調査をとおして古民家の再生と活用について地域の人々の聞き取りと、復興のための水源地の調査をおこなった。

2026 年 3 月 20 日 旧尾方テオドラ亭を運営する漫画家山下和美らと大正時代の文化住宅での暮らしを実践する浅井カヨ氏を訪ね古民家や洋館の活用に関する実践を共有した。

3) アートを中心とした拠点の活用と地域コミュニティの再生の実践

毎秋土曜日に開館シカフェなどをおこなうのと同時に、地域に開かれたオープンアトリエや英会話教室としての準備も進めている。また以下のリストにあるように、昨年度は1ヶ月に一回の頻度で、民族音楽を中心にさまざまな演奏や展示、映画上映、講演会を実施した。こうした企画には多くの学生たちが関わっており、地域の人たちが多く参加している。(なお、以下のイベントの実施には本研究推進費を利用していないが、企画実施の記録や参加者からのフィードバックなどのデータを本研究に活用している)。こうした活動を通して本研究の目的であるフィールドとアートをつなぐ人類学の実践と、地域コミュニティの拠点作りと活性化を実現した。

2025 年 4 月 5 日 「南シベリアの音色に魅せられて」

南シベリア・トゥバ共和国に伝わる倍音唱法ホーメイと伝統楽器による音楽ライブ。演劇とホーメイの演奏活動を行う松尾容子が、東京からホーメイとイギルの名手鎌田英嗣氏を招きライブを開催

2025 年 7 月 5 日 「クラシックへの扉」

文学部フィールドワーク実習の一環として、北九州市立大学・産業医科大学・福岡大学の学生たちによる室内アンサンブルを実施。

2025 年 7 月 26 日 歌の帆 Duo 「天からの歌」

モンゴル民謡歌手の三枝彩子がヴァイオリニスト谷本仰と共に公演。ワークショップも開催

2025 年 9 月 21 日 安藤真也サントゥール&原口順タブラ演奏

北インド古典音楽の世界を彩るサントゥールとタブラ。きらびやかな弦の響きと緻密なリズムが織りなす即興演奏

2025 年 10 月 11 日 実近修平 Mbira live 「Nyamayiekugocha 戦争の終わりを祝う曲」

アフリカジンバブエのショナ族に伝わるムビラの演奏

2025 年 10 月 18 日 MoGA シネマ・オープン

門司港地域での映画上映を実現するために北方シネマのノウハウを生かして MoGA シネマを

スタートさせた。第一作目は「五香宮の猫」を上映し、学生や参加者ともに想田和弘監督と門司港の街の街を散策し観察映画について学んだ。

2025年10月18日 「五香宮の猫」上映

2025年12月6日 「鹿の国」上映

2026年1月24日 「炎はつなぐ」上映と大西暢夫監督講演

2025年12月12日 山北のりひこ:ジャンベ・ライブと講演

奄美大島でアフリカの音楽演奏をおこなっている山北のりひこのジャンベ・ライブと嘉徳海岸の保全にかんする講演

2026年1月31日 パーター・ゲスナー監督による桐朋学園芸術短期大学の学生による星の王子さま公演

2026年1月17日 角谷みどりの庭作り講座

愛知県の里山古民家カフェで造園をしている一級造園施工管理技士・角谷緑さんによる庭造ワークショップと庭園の視察

2026年3月-3月29日 デンマーク・ビフロスト展

デンマーク・ラナースに位置するビフロスト美術学校で作品を制作する個性豊かなアーティストたちによる展覧会。ライブとマルシェも同時開催